

令和7年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホームむさしの園(SS含む)

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

ひまわり保育園

サービス推進課

特別養護老人ホームむさしの園わかば

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

生活困窮者に対する相談支援事業

むさしの森保育園

目 次

法人本部	P 1～P 4
特別養護老人ホーム むさしの園 むさしの園ショートステイ	P 5～P 6
ケアハウス むさしの園	P 7～P 8
むさしの園デイサービスセンター	P 9～P 10
ひまわり保育園	P 11～P 12
サービス推進課	P 13～P 14
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 15～P 16
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 17～P 18
むさしの園在宅介護支援センター	P 19～P 20
生活困窮者に対する相談支援事業	P 21～P 22
むさしの森保育園	P 23～P 24

法人本部

1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

(1) 主たる事務所の所在地

埼玉県狭山市南入曽 1044 番地 1

(2) 代表者名

理事長 大野 裕 明

(3) 法人認可年月日

平成 9 年 3 月 19 日

(4) 法人認可番号

指令高福第 1745 号

(5) 法人設立登記年月日

平成 9 年 3 月 21 日

2 法人の行う事業

(1) 第 1 種社会福祉事業

No	施 設 種 別	利用定員
1	特別養護老人ホーム (従来型)	90 名
2	特別養護老人ホーム (ユニット型)	100 名
3	ケアハウス	20 名

(2) 第 2 種社会福祉事業

No	施 設 種 別	利用定員
1	ショートステイ	10 名
2	デイサービスセンター (入曽)	50 名
3	デイサービスセンター富士見	45 名
4	在宅介護支援センター	
5	生計困難者に対する相談支援事業	
6	認可型保育園 むさしの森保育園	90 名
7	一時預保育園 むさしの森保育園	10 名

(3) 公益を目的とする事業

No	施 設 種 別	利用定員
1	居宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19 名

(4) 職員数 260 名

3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審 議 ・ 決 議 事 項
	理事	監事	
令和7年6月4日	5	2	決議事項 1 運営規程の一部訂正について 2 令和6年度事業報告（案）について 3 令和6年度決算報告（案）について 4 令和6年度監事報告について 5 定期評議員会の開催日と議題について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和7年6月19日	6	2	決議事項（書面決議で同意書） 1 次期任期理事長の選出について 報告事項 1 理事長の活動状況及び決裁について 2 次期任期理事の決定について
令和7年10月17日	6	2	決議事項 1 屋上防水工事及び借入について 2 就業規則の一部変更について 3 第1次補正予算について
令和8年3月26日	5	2	決議事項 1 令和7年度第2次補正予算について 2 令和8年度事業計画について 3 令和8年度当初予算について 4 重要な人事について 5 就業規則の一部改正について 6 むさしの森保育園一時預かり事業の休止及び園則改正について 7 特別養護老人ホーム給食費値上げについて 8 定時評議員会について 報告事項 1 行政監査報告について 2 理事長の活動状況及び決裁について

4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審 議 ・ 決 議 事 項
	評議員	監事	
令和7年6月19日	7	2	書面決議事項 1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度決算報告、社会福祉充実残額について 3 監事監査報告について 4 役員の選任について 報告事項 1 理事長の活動状況について 2 評議員の決定について 3 行政監査報告について

5 監事監査の状況

監査年月日等	監査内容及び結果
令和7年6月4日 監事 2名参加	内 容 社会福祉法人至福の会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実施した。 結 果 令和7年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付属明細表は、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適性であった。

6 評議員選任・解任委員会の状況

開催年月日等	審議内容
令和7年4月22日 評議員選任・解任員 3名参加	次期評議員の選出について 評議員全員重任として決定しました。

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

事業所目標	【1】稼働率 特養／ショートステイ 平均98％／年 ⇒96.6％ 未達 【2】定着率向上（離職率10％以内を目標）⇒ 18％ 未達 【3】1週間休みが取得できる職場環境改善 ⇒ 16％ 未達 【4】実務者研修の開校（実開催は2026年を想定）⇒ 未達
-------	---

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】特養稼働	98.1%	99.1%	99.6%	98.7%	97.8%	96.1%	98.3%	99.1%	96.8%	96.3%	97.5%	96.9%	97.9%
【1】ショート稼働	107.0%	95.5%	100.0%	98.1%	95.2%	97.0%	57.7%	86.3%	73.9%	67.1%	73.6%	68.7%	85.0%
稼働合計	99.0%	98.7%	99.6%	98.7%	97.6%	96.2%	94.3%	97.8%	94.5%	93.8%	95.8%	94.9%	96.6%

【稼働】

- 1、上期は平均98.3％ 下期 95.2％の結果となる
- 2、下期はSSの利用者トラブルから大幅な稼働減となり、組織編制の見直し相談員交代となる

【離職状況】

- 1、離職率 18.5％ 離職者数13名
常勤 11名 非常勤 2名
外国人3名 体調不良2名（腰痛、メンタル） 待遇面 3名 家庭事情2名 その他 3名

【1週間休みを取得できる職場環境改善】

- 1週間休み取得状況 16％
離職に伴う人員不足により、未達

【実務者研修の開校】

- 人員不足により断念
社会福祉法人での開設は見送る

ケアハウスむさしの園

事業所目標	【1】稼働率 平均 95% ⇒91.5% 未達
	【2】クラブ活動 ⇒達成
	【3】保育園との交流
	【4】有料サービスの構築

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	87.5	87.5	87.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	93.8	93.8	93.8		95.3
実績	87.5	93.5	87.5	87.5	87.5	87.5	93.5	93.5	93.5	93.5	93.5	100.0		91.5
クラブ活動	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0
実績	5	5	5	6	4	6	5	5	6	6	4	4	61	5.1

【稼働】

年間退居者数 2名 (95歳 脳梗塞、96歳 転倒骨折)

平均年齢 87.2歳 平均介護度 1.2

年齢内訳 90代 7名 80代 6名 70代 3名 最高齢 98歳

【クラブ活動の再開】

クラブ活動週1回以上のペースで定期的な開催を実施

手芸クラブ クラブ活動は定期的に実施することができましたが、高齢化によるものなのか
体調不良など参加率が低下している

【保育園との交流】

ひまわり保育園との定期的な季節行事の参加と雨天時の交流などを開催することができました

実績：節分、夏祭りごっこ、運動会、敬老会、ハロウィン、クリスマス、餅つき

【有料サービスの構築】

・服薬声掛け（服薬管理はNG）

・クラブ活動費用、エアコン清掃、代行サービス（受診付き添い、市役所手続き）

むさしの園デイサービスセンター

事業所目標	【1】稼働率 月間延べ人数900人 【2】クオリティーインプループメントに取り組む 【3】感染症に対する知識・対応力のレベルアップ 【4】事業継続計画（BCP） 【5】定着率向上（離職率10%未満）
-------	---

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
合計利用人数	872.0	873.0	855.0	888.0	789.0	927.0	896.0	832.0	888.0	891.0	882.0	924.0	10517.0	876.4
介護合計	752	759	736	793	752	784	820	763	785	781	787	850	9362.0	780.2
総合事業	143	118	118	102	102	143	104	94	103	109	114	87	1337.0	111.4
【2～4】研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
【5】環境改善	1			1			1			1			4	

行動目標

【稼働率および利用状況に関する報告】

【1】今期の稼働率は69%となり、前年度の65%から4ポイント改善しました。一方で、目標である80%には11ポイント届かず、月間延べ利用者数も目標の900名に対し平均780名と未達となりました。

未達の要因としては、新規利用者の獲得数が予想より伸びなかったこと、既存利用者の利用頻度の変動医療・介護の変化による利用中止などが挙げられます。

次期は稼働率80%達成に向け、まずは月間延べ利用者数850名を中間目標とし、ケアマネとの連携強化、体験利用の促進、サービス内容の充実、送迎ルート見直しなどを進めてまいります。

R8年度より大規模Ⅰに移行に伴い、基本報酬及が一人当たり1日約100から12単位減少し、月間延べ利用者数780名の現状では、月間78万～94万円、年間では約900万～1100万円の減収となる見込みです。

【今年度の取り組みとその成果【2】～【6】】

- ・ BCP業務継続計画（災害）については計画書に基づき職員へ定期的な訓練と見直しを行いました。
 - ・ 感染症対策に関する職員研修（デイ会議）を定期的に行い、知識・対応スキルの底上げと現実定着の促進
 - ・ ヒヤリハットの共有・サービス改善ミーティングの実施（デイ会議）などQIの取り組みにより現場力の向上に努めました。
 - ・ 職員の定着率に力を入れ、離職率10%未満を維持するなど、安定した運営体制の基盤づくりを進めました
- これらの取り組みを通じて、「選ばれる施設づくり」「信頼される職場づくり」に向けた基盤が一步步つ整いつつあります。来年度も継続的な見直しと改善を重ね、より良いサービス提供を目指して参ります。

ひまわり保育園

目 標	【1】年間平均稼働率70% ⇒71.9% 達成 【2】共同利用の促進 前年対比2倍を目標 ⇒未達 【3】保育の質の向上
-----	--

令和7年度の入園児目標

クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
0歳児	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	3	1.3
1.2歳児	8	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10	10	10.1
3歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
4.5歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0.3
従業員枠	3	5	5	5	6	7	7	7	7	7	7	7	6.1
合計	10	12	12	13	13	14	14	15	15	15	15	16	13.7
稼働率	53%	63%	63%	68%	68%	74%	74%	79%	79%	79%	79%	84%	71.9%

行動目標

【入園児目標】

- ・年間平均稼働率を71.9%を達成。
- ・採用との連携が取れ、従業員枠を期首当初3名から7名にまで増やすことができた。
- ・採用担当と園長を兼務したことにより、従業員採用時の対応から意思決定までをスムーズに対応することが採用と稼働向上に寄与できた。

【共同利用の促進】

- ・市と相談し、新規利用のアナウンスを実施しましたが、新規契約には結びつかなかった

【保育の質向上】

- ・安全管理研修の受講枠を増やし、園長主任以外の職員の研修機会を増やした。
- ・毎月職員による内部研修を実施して、アウトプットする機会を創出した。

サービス推進課

事業所目標	【1】採用：昨年度に引き続き、法人の魅力や特色が見えやすい採用ホームページを作成し、直接応募での採用強化のため、ブランディング化を図っていく。 【2】人材定着支援：各部署からの情報をサイボウズや訪問等をして情報共有 【3】離職防止：法人全体で離職率10%未満 (前年度法人全体13.7% (内、介護14.4%、保育10.9%)) ※介護職：介護実態調査では埼玉県介護職離職率17.1%、保育士：離職率9.3%
-------	---

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
①採用数	8	2	1	2	1	4	2	5	2	3	0	1	31
②学校訪問	2	2	1	21	3	1	1	0	4	0	0	1	36
③合同説明会	1	1	2	1	1	4	1	1	0	0	1	1	14
④離職状況	4	6	3	4	6	2	3	3	3	0	1	15	50
⑤新入社員面談	0	3	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10
⑥既存職員面談	0	1	3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	7

目標に対する評価

【採用目標】

- 採用実績：介護 25人（内新卒 6人）、保育 6人（内新卒 1人） ※夏季短期アルバイト1名除く
- 問合せ件数：196件（前年度比 +51件）
- 面接回数：95件（前年度比 +26件）
- 学校訪問：目標 70件 予実 44.3%
- 合同説明会：目標 12件予実 116.7%
- 採用活動管理：総応募 196件 → 面接 95件（48.2%） 採用 30件（31.9%）
 - ①ジョブメドレー 応募65件/総応募196件 → 面接 30件（46.2%） → 採用 8件（26.7%）
 - ②indeed 応募35件/総応募196件 → 面接 13件（37.1%） → 採用 4件（33.3%）
 - ③採用HP 応募29件/総応募196件 → 面接 10件（15.4%） → 採用 7件（70%）

- 採用活動費用：予算 6,000,000円 実績 7,365,829円）円 ※以下詳細
 - 採用HP広告運用費 1,312,577円（一人当たりの平均採用費用 437,526円）
 - indeed PLUS広告費 1,222,001円（一人当たりの平均採用費用 305,500円）
 - 採用課金型採用費 ジョブメドレー 総額 1,012,000円 8名採用
 - 採用課金型採用費 ウェルミージョブ 総額 242,000円 1名採用
 - 人材紹介採用費 (株)エス・エム・エス 総額 1,224,630円 1名採用
 - 人材紹介採用費 (株)EIL 総額 829,521円 1名採用
 - 職員紹介費 総額 200,000円 2件

- (①紹介者：むさしの森保育園 木嶋真由美/就職者：松田由美)
(②紹介者：むさしの森保育園 芳賀陽菜/就職者：萩原佳都)

【定着支援目標】

- 新入社員面談：入職時1か月面談以降、未着手の状態。今年度は介護の欠員が大きく、そちらの採用活動に多くの時間を要してしまったため、計画的な実施まで至らなかったのが、大きな反省点である。
- 既存職員面談：特養むさしの園わかばの某職員が、面談実施時の配属への不満や懸念が多く、離職意思が挙がっていたため、面談を実施。その面談の中から異動し、環境が変われば心機一転、継続可能との意思が確認できた。その内容を施設長、各役職者へ共有し異動を検討・実行し、離職防止へと繋がった。

【離職防止】

- 職員面談：粒度の大きいヒアリング内容（職員同士のトラブル、不眠などのメンタル不調、退職意向など）は施設長や各役職者へ迅速に共有。下半期は採用活動に多くの時間を要し、計画的な定期面談実施まで至らず。
- 施設長と情報共有：推進課で得た情報をサイボウズや口頭で共有したが、離職防止に直結したとは言い難い。

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

事業所目標	【1】年間平均稼働率 98%以上	⇒ 91.6 % 未達
	【2】人材確保と育成	⇒ 未達
	【3】ユニットケアの質の向上	⇒ 一部達成
	【4】離職率の減少	⇒ 全体で27.3% 未達
	【5】BCP	⇒ 達成

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】全体稼働	97.7	93.3	90.6	89.5	91.2	89.4	89.9	92.1	89.9	89.8	91.1	94.4	1099	91.6
【1】特養延べ人数	2889	2892	2697	2735	2769	2638	2721	2695	2742	2739	2496	2873	####	2741
【1】延べ入院人数	148	171	100	106	55	43	87	97	99	77	43	20	1046	87.2
【1】新規申し込み	3	3	2	6	7	8	8	9	4	6	6	3	65	5.42
【1】入居数	4	2	2	2	2	0	2	3	1	2	6	1	27	2.25
【1】退居数	3	7	6	1	2	2	0	2	3	2	2	0	30	2.5
													0	#DIV/0!

目標に対する評価

【1】年間平均稼働率

目標98%に対して91.6%と目標を下回る結果となった

特に上期退居者数が21名と全体の7割となり入居が追い付かない状況が続いた

入居申し込みについては毎月の営業活動等もあり下期は改善した

入居数が退居数を下回る結果となり、入居までの期間短縮が引き続き課題として残った

【2,3】人材確保と育成およびユニットケア質の向上

採用については年間10名となった

リーダー1名の退職があった。またサブリーダーの擁立等を計画してきたが、実現に至らなかった

高齢者福祉研究大会に至福の会代表として参加することができ、介護の専門性等を高めるきっかけを作ることができた

時間帯別の人数配置状況を明確にして、ユニットを超えた協力体制の構築をスタートできた

【4】離職率の減少

わかば拠点として離職者21名（介護14名、その他7名）となり、全体の離職率は27.3%となった

短期間（3ヶ月以内）の離職者は全体で3名であった

離職者の少ないユニットは離職者1名、多いユニットは6名という結果であった

職場環境改善、メンタルサポート等を含めた課題抽出と対策が必要

【5】BCP

法人全体で、BCP訓練を実施し、各部署での課題の抽出ができた

感染症の発生もあり、厳しい状況に陥る期間もあったが、それを機にマニュアルの更新もできた

むさしの園デイサービスセンター富士見

事業所目標	【1】月延人数 950人
	【2】自立支援と認知症ケアのスキル向上
	【3】事故再発予防、高齢者虐待防止、クレーム処理等の対応力の向上
	【4】BCP業務継続計画（災害・感染症）の研修と訓練の実施
	【5】働きやすい環境作りと職員の定着率向上（離職率10%未満）

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年度
【1】月延人数	942	894	835	960	884	900	936	842	823	773	762	837	10388	866	906
【1】介護給付	845	805	739	852	777	793	820	750	738	684	675	743	9221	768	809
【1】総合事業	97	89	96	108	107	107	116	92	85	89	87	94	1167	97	97
【1】新規申込	2	3	4	11	7	5	4	1	3	3	2	2	47	3.9	3.9
【1】登録廃止	6	5	10	4	3	7	6	4	4	4	4	2	59	4.9	3.8

行動目標

【1】月延人数 法人目標の900人を達成できませんでした。年度初めに週5利用のご利用者が3人抜けた穴を埋めきれなかったのが大きな要因のひとつです。新規の獲得はほぼ目標通りだったが、廃止数が例年より1.1ポイント上昇したのも伸び悩んだ原因。入居と入院が主な廃止理由。総合事業は、前年度と変わらず維持している。現行相当サービスの受け入れに力を入れた事が考えられます。令和8年度も大規模！を維持する事ができました。 【2】自立支援と認知症ケアのスキル向上 現行相当サービスのご利用者増加に伴い、自立支援のニーズも増加傾向です。自宅での生活を意識し、自身で出来る事は頑張ってもらい、サポートをしっかりと行うという在宅を意識したサービスに取り組みました。 【3】事故再発予防、高齢者虐待防止、クレーム処理等の対応力の向上 骨折等の大きな事故は起きませんでした。少ない職員人数の中、職員同士の連携が図れた事が良かった点です。ご利用者の大きな事故は無かったが、労災事故が2件発生しました。しっかりと対応し改善を行いました。 【4】BCP業務継続計画（災害・感染症）の研修と訓練の実施 BCP業務継続計画に基づき、災害と感染症発生時の定期的な訓練と見直しを行いました。 【5】働きやすい環境作りと職員の定着率向上（離職率10%未満） 新規採用は、0名。退職者は、介護パート1名（転職）、お風呂パート1名（定年）。 離職率8%で目標達成。新規採用が難しい中、離職防止の為に処遇改善や環境改善に取り組みました。 熱中症対策でネッククーラーの配布や、トイレ内のサーキュレーター設置等で働きやすい職場を目指しました。
--

むさしの園在宅介護支援センター

事業所目標	【1】 担当件数（請求件数）年2,484件（月平均207件） 【2】 新規件数 年60件 【3】 予防給付担当件数 年240件（月平均20件） 【4】 地域貢献活動（オレンジカフェ） 【5】 研修・会議
-------	--

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【1】 担当件数	205	205	205	205	208	208	211	211	208	205	205	208	2484
【2】 新規件数	4	5	6	6	4	6	6	6	4	4	4	5	60
【4】 わかばカフェ	1	1	1			1	1	1	1			1	8
【5】 研修・会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

行動目標

【担当件数】

1. 担当件数については、介護、予防給付併せて年2484件（月平均207件）以上を目標とする
2. 月次目標数値としては常勤40件、週5非常勤35件、週4非常勤30件とする（計215件）

【新規件数】

1. 担当件数の目標数値を意識し、積極的に受け入れができるようセンター内での情報共有を行う
2. 水野、入曾包括支援センターの圏域会議に参加し、包括との連携を密にとっていく

【予防給付担当件数】

1. 予防給付に関しては、年間240件を目安とし、受け持ちに偏りがないよう適宜調整を行う
2. 予防給付ケースについては、包括と連携して進める

【地域貢献活動】

1. わかばカフェは年8回の実施とする。夏場、冬場は気候の関係から実施を見送る
2. イベントについては、来園者の声も取り入れながら、楽しんでもいただける企画をする
3. ボランティアの受け入れも適宜行っていく

【研修・会議】

1. 県や職能団体からの研修案内があれば適宜参加し、知識と技術の向上に努める
2. 内部研修（オンライン）を引き続き活用し、介護支援専門員としてのスキルアップを図る
3. 地域の事業所と連携し、事例検討会や情報共有を行う（特定事業所加算取得の要件）
4. 埼玉県老施協や関係団体への参画を継続し、横のつながりを作る

生活困窮者に対する相談支援事業

事業所目標	【1】 初回相談時には支援の必要性を協議し、判断する 【2】 相談開始から3か月以内に終結することを目標とする 【3】 市内、県内のセーフティ事業者連絡会議の研修へ参加し技術、技能の研鑽を行う
-------	---

	相談時期	紹介先	年齢	性別	支援金額	支援費の内訳	支援期間	その他
1	令和7年4月	狹山市社協	75	男	¥3,600	携帯電話・通信費	1日	
2	令和7年5月	トータルサポート室	19	男	¥0	無	1日	相談のみ
3	令和7年6月	狹山市社協	22	男	¥11,410	医療費	25日	
4	令和7年9月	狹山市社協	71	男	¥19,912	食料	1ヶ月10日	
5	令和7年9月	トータルサポート室	76	女	¥21,338	食料	26日	再支援者
6	令和7年9月	狹山市社協	55	男	¥8,862	医療費、携帯電話	4日	
7	令和7年10月	狹山市社協	58	男	¥7,910	医療費	2ヶ月2日	
8	令和7年10月	子ども支援課	29	女	¥41,675	光熱水費、食材、日用品費	継続中	
9	令和7年11月	家庭児童相談室	36	女	¥99,920	医療費、家賃	1ヶ月18日	住居確保
10	令和8年1月	トータルサポート室	29	男	¥84,592	食材、日用品費、交通費、携帯電話、光熱水費	継続中	年度内再支援あり
11	令和8年1月	トータルサポート室	48	女	¥16,679	光熱水費	1日	
12	令和8年3月	トータルサポート室	93	男	¥31,349	光熱水費	1ヶ月19日	

目標に対する評価

【1】 初回相談

初回相談時、相談者が頑なに住所所在地を明かさなかった為、相談のみとなったケースが1件あった。セーフティでの支援が明らかに不適切と判断したケースを除き、自立支援機関担当者と共に訪問した上で、支援の必要性の協議を行った。協議の結果、当初依頼された支援とは異なる支援を行ったケースもあった。

【2】 支援期間

多くのケースにおいては、3ヶ月以内に終結に至っている。

支援継続中のケースについては、相談者が支援機関からの指導に対して適切な対応を行わなかったことにより、当初の見通しどおりに進捗しなかったため、支援の長期化につながっている。

【3】 研修事業への参加

担当相談員養成研修に参加し、修了証を受領した。

第2ブロック会議および社協主体の連絡会議に参加し、顔つなぎ及び知識・技術の向上を図った。

むさしの森保育園

事業所目標	【1】年間稼働率平均107% 【2】離職率10%未満を目指します 【3】一時預かり保育は、年間利用人数の目標を350人以上をめざします 【4】自然環境を取り入れた保育の実践。
-------	---

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	93	93	93	91	92	95	95	94	95	95	95	95	94
内訳	0歳児	8	8	8	8	9	9	9	8	9	9	9	9
	1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	4歳児	18	18	18	16	16	18	18	18	18	18	18	18
	5歳児	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16
稼働率	103%	103%	103%	101%	102%	106%	106%	104%	106%	106%	106%	106%	104%

行動目標

【1】年間稼働率平均107%を目指します。

4月には、3歳児を弾力運営により4名受け入れ、幼児全体の在籍数は過去最高となりました。しかしながら、目標達成には至らず、幼児の弾力運営による受け入れ人数をさらに増やしていく必要がありました。また、0歳児・2歳児・5歳児において退園が発生し、一部の月で定員を下回る状況となったことも要因の一つです。今後は、弾力運営による受け入れ体制の充実を図るとともに、入園希望者への積極的な情報発信や利用調整を行い、定員充足率の向上に努めていきます。

【2】離職率10%を目指します。

離職率は20%となり、目標を達成することはできませんでした。

今年度は、常勤職員4名（病気3名、転職1名）、非常勤職員3名（病気1名、介護2名）が退職しました。退職理由としては、病気や家族の介護など、個人的な事情によるものが多くを占めており、事業所として引き止めることが難しい状況でした。

今後も職員が安心して働き続けられる職場環境づくりに努めるとともに、離職防止に向けた取り組みを継続していきます。

【3】一時預かり保育は、年間利用人数の目標を350人以上をめざします。

年間利用者数396人となり、目標を達成することができました。

今年度は、非常勤職員2名体制で一時預かり事業の運営を行いました。お二人とも責任感を持って業務に取り組み、安全で丁寧な保育の提供に努めていただいた結果、目標を達成することができました。

【4】自然環境を取り入れた保育の実践

令和7年5月11日、保護者の皆様のご協力のもと、森林ゾーンの整備および小屋づくりが完成しました。現在は、自然物を使ったおままごと遊びなど、子どもたちの遊びの幅が広がっています。

また、その後も森林ゾーン内の伐根や伐採作業にご協力いただいております。令和7年度卒園の年長クラスの子どもたちが森に「どんぐりランド」と名前を付けてくれました。さらに、卒園記念品として森の名前が入った看板を製作していただき、森の入口に設置しております。

子どもたちや保護者の皆様に、この森に親しみと愛着を持っていただきながら、大切に育んでいければと思います。こうした活動はinstagramに掲載し広報活動しております。そのおかげもあってか、令和8年度の4月入園希望児童数は狹山市一番人気の園と狹山市よりご報告いただきました。